

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成17年12月22日(2005.12.22)

【公表番号】特表2001-500047(P2001-500047A)

【公表日】平成13年1月9日(2001.1.9)

【出願番号】特願平11-505731

【国際特許分類第7版】

A 6 1 B 17/10

A 6 1 B 17/04

A 6 1 B 17/12

【F I】

A 6 1 B 17/10

A 6 1 B 17/12 3 2 0

A 6 1 B 17/04

【手続補正書】

【提出日】平成17年6月27日(2005.6.27)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】補正の内容のとおり

【補正方法】変更

【補正の内容】

手続補正書

平成17年6月27日

特許庁長官 小川 洋 殿

1. 事件の表示

平成11年特許願第505731号

~~PCT/US98/13240~~

2. 補正をする者

事件との関係 特許出願人

住所 アメリカ合衆国, ニューヨーク州 10027,
ウェスト ワンハンドレッド シックスティーンズ
ストリート アンド ブロードウェイ

名称 ザ トラスティーズ オブ コロンビア ユニバーシティー
イン ザ シティー オブ ニューヨーク

3. 代理人

〒105-0003

住所 東京都港区西新橋 2-19-2. 西新橋YSビル3階

電話 03 (5401) 2521

氏名 (8554) 弁理士 松井 光 夫



4. 補正により増加する請求項の数 なし

5. 補正対象書類名 特許法第184条の5第1項の規定による書面

6. 補正対象項目名 (1) 明細書

(2) 特許請求の範囲

7. 補正の内容

(1) 特許請求の範囲を別紙の通り訂正する。

式
登
録

- (2) 発明の名称を「循環弁修復のための装置」に訂正する。
- (3) 明細書第4頁第3行の「挿入装置」の後に「(挿入デバイス)」を挿入する。
- (4) 明細書第4頁第4行および下から第7行の「方法および」を削除する。
- (5) 明細書第4頁第5行の「に関する。」の後に下記を挿入する。

「すなわち、本発明は、小葉を有する心臓弁を修復するための弁修復装置において、血管を通して心臓に挿入されるように構成された遠位端を有する挿入デバイス、および挿入デバイスの遠位端に開放可能に結合され、かつ複数の小葉を一緒にしてまたは互いに実質的に隣接して固定するように適合された展開可能な固定具を含む装置を提供する。」
- (6) 明細書第4頁第13～14行の「留め具を配置して」を「留め具(固定具)を配置(展開)して」と訂正する。
- (7) 明細書第4頁下から第6行の「および方法」を削除する。
- (8) 明細書第4頁最下行ならびに第5頁第2行および第4行の「修復法」を「修復装置」に訂正する。
- (9) 明細書第7頁下から第8行の「遠位端18」を「遠位端14」に訂正する。
- (10) 明細書第13頁下から第4行の「図23」を「図22」に訂正する。
- (11) 明細書第14頁第5行の「図26」を「図25」に訂正する。

請求の範囲

1. 小葉を有する心臓弁を修復するための弁修復装置において、
血管を通して心臓に挿入されるように構成された遠位端を有する挿入
デバイス、および
挿入デバイスの遠位端に開放可能に結合され、かつ複数の小葉を一緒に
してまたは互いに実質的に隣接して固定するように適合された展開可能な
固定具
を含む装置。
2. 挿入デバイスが遠位端に、小葉をつかむように適合されたつかみ器具
を含む、請求項 1 記載の弁修復装置。
3. 展開可能な固定具がつかみ器具に対して一体的である、請求項 2 に記
載の弁修復装置。
4. 展開可能な固定具がつかみ器具の別個の構成要素である、請求項 2 に
記載の弁修復装置。
5. 展開可能な固定具が、ステープル、コイル、縫合材、二重ボタン固定
具、カフリンクス様固定具、クリップおよびU-形クリップから選択され
る、請求項 1 に記載の弁修復装置。
6. 展開可能な固定具が小葉を部分的にのみ貫通する、請求項 1 に記載の
弁修復装置。
7. 展開可能な固定具がクリップを含む、請求項 1 に記載の弁修復装置。
8. 装置が、固定具の展開の前に小葉を接合するように適合されている、
請求項 1 に記載の弁修復装置。